# 体験交流と教育民泊から

## 長野県・南信州

### 南信州SDGs教育プログラム
### 民泊と体験交流が生み出す相乗効果

**なぜ今、南信州か？**

○「主体的・対話的で深い学び」、SDGs理解学習、ESD（持続可能な開発）学習のためのファシリテーター（学習支援者）の養成に積極的に取り組んでいます。

○1996年より全国からの教育旅行の受け入れを開始、28年間の安定した実績。

○全国で初めて農泊を教育旅行に導入（1998年）。第1回オーライ！ニッポン大賞最優秀賞、2017クールジャパンアワード受賞（農泊）。

○南信州観光公社は、飯田下伊那など16市町村が出資し広域行政の協力で受け入れ。

○ラフティングなどの200近い体験プログラムが用意されています。

天竜川ラフティングでチームワークができる

**SDGsと学習指導要領～学校教育に求められるもの～**

OECD PISA（2022学習到達度調査81カ国・地域から69万人が参加、15歳対象）が評価する主要な能力で、日本はOECD加盟国中、数学的リテラシー1位（1位）、科学的リテラシー1位（2位）、読解力2位（11位）と全て世界トップクラス。この結果をOECDはコロナによる休校日数が比較的少なかったこと、学習指導要領による授業改善効果、学校現場でのICT機器への習熟等を主因として分析しています。

学習指導要領の求める主要な能力は、OECDが実施するPISAの調査目的とリンクしています。既に始まった大学入試制度の改革も以下の点を意識しています。

世の中は「正解のない問い」に答えを出せる「問題解決能力」や「創造性」を持つ人を求めています。感動体験南信州は、学歴や偏差値でその能力の有無は予測できないものであり、次代を切

ネギの収穫、ほ場から考える農業のSDGs

位、地域の伝統芸能を知り、抱える課題について考える（大鹿歌舞伎）

リンゴ畑から循環型農業の効果を知る

り拓く青少年には、「認知能力」（IQや学力テストで計測される）ではなく、「非認知能力」がその職業人生においても必要とされると考えます。

これは真面目さ、開放性、外向性、協調性、精神的安定などから構成され、人間力と言い換えてもよいものです。

**農家民泊の受け入れ**

2023年にコロナ禍を経て再開した際は86軒の農家の協力を得ましたが、2024年は94軒に増えました。2025年は100を超え、120軒体制を見据えて取り組み、1日当たりの最大人数300人を目指します。また、60歳未満の受け入れ農家の全体に占める割合は40%を超えており、将来にわたって継続的な受け入れが可能となっております。

昨年委託業者を変更したラフティングは、全国的に例の無い、スタート&ゴール地点とも護岸された港と常設の建物内に着替え会場を有し、7人・9人乗りボートで編成しチームワーク醸成を意識した対応を行っています。

2030年以降の学習指導要領の改訂も見据え、自己肯定感の涵養（かんよう）や他者理解の心を育むプログラムをふんだんに用意しています。皆さまのご来訪をお待ちしています。

**株式会社 南信州観光公社**
長野県の認定するSDGs推進企業第147号

〒395-0001 長野県飯田市座光寺3349-1
エス・バードE棟2階
TEL 0265-49-4737 FAX 0265-49-4738
URL https://www.mstb.jp/

## 福井県・若狭路

### 豊かな自然や人の温かさで人としての素敵な心づくりを

**◆若狭路はあとふる体験の活動目的と理念◆**

・一つ、私達は、三方五湖を中心とした美しい若狭地域の自然環境を守り次世代に繋げます。
・一つ、私達は、今を生きることに感謝し、地域の仲間と想いを一つにし、物心共に豊かなまちづくりを目指します。
・一つ、日本の未来を担う子供達の育成に寄与します。
・一つ、常に互いを承認し、責任を持って前向きで逃げない、ひとづくりをおこないます。
・一つ、美浜町を中心に若狭町、敦賀市と共に地域住民が活躍できる場を作り、発展につなげていきます。
・一つ、行政官の縦割り社会を無くし、本気で官民一体となった手本を作ります。

若狭路はあとふる体験の舞台となる福井県若狭地域は、五つの湖がつながった「三方五湖」、絶品の魚介類が豊富に取れる「若狭湾」など多くの自然を有する地です。海・山・湖・田の自然に囲まれ、自然と共存する若狭地域での最高の思い出作りをお手伝いいたします。

若狭路はあとふる体験では、「人」と「人」の出会いを大切にしています。ホームステイ、漁家民宿、さまざまな体験プログラムでの多くの出会いは、一人一人の心を大きく成長させるものとなります。ほんの1日、2日の短い時間ではありますが、短い時間だからこそ感じられる喜び、一瞬一瞬を大切にする心を育むことができます。涙を流して別れを惜しむほどの素敵な出会い、一生の思い出となる感動をご提供します。普段とは異なる生活、食に触れ、一生に一度となるかけがえのない時間を福井県若狭地域で過ごしてみませんか？

また、約50種類にもおよぶ体験プログラムでは、実際に農業や漁業を生業とされている方々にインストラクターをしていただいています。ただ体験するのではなく、農林漁業の現状、抱えている問題を頭と体を使いながら学ぶことができます。若狭路はあとふる体験特有の体験プログラムである「ボート体験」では、チームのメンバーと協力する心、人間関係を構築する能力を育んでいただけます。その他にも、波止釣り体験や田植え体験、伝統味覚体験など非常にバリエーション豊かな体験プログラムをご用意しております。

そして、若狭路はあとふる体験では、SDGsについて考え、学んでいただける「探究型エネルギー学習プログラム」、「探究型人権・人道平和学習プログラム」もご用意しております。これらのプログラムでは、日本のエネルギーやユダヤ難民、ポルトガル孤児の歴史について学んでいただくことができます。

ボート体験

しじみ漁体験

宿泊プログラムについては三つのタイプから選択していただけます。幸福度ランキング1位にも選ばれた福井県の一般家庭の温かみを感じることができる「ホームステイタイプ」、漁村での独特の生活文化を体験することができる「漁家民宿タイプ」、最大200名の受け入れが可能な「旅館タイプ」をご用意しております。まるで自分が家族の一員であるかと錯覚してしまうほど、受け入れ家庭の方々は温かく、楽しく、いっぱいの笑顔で迎え入れてくれます。田舎ならではの生活を目で見て、肌で感じ、充実した時間を過ごしていただけます。これらの3タイプに加え、今年から既存の宿泊プログラム、体験プログラムに比べ、受け入れ家庭の方々とより長い時間交流していただける「ホームステイ半日交流プログラム」も選択いただけます。人との出会い、交流の素晴らしさを強く感じていただけるものとなっております。

自然に触れ、温かい人に包まれながら素敵な心づくりを福井県若狭地域で行ってみませんか？時間をかけてでも来る価値のあるこの若狭地域での思い出作りを全力でサポートいたします。

渓流釣り体験

**一般社団法人 COLORsプラス**
（若狭路はあとふる体験）

〒919-1131 福井県三方郡美浜町木野21-4-1
〈㈱旅工房内〉
TEL 0770-32-2222 FAX 0770-32-6667
URL https://tabikobo-jpn.com/
E-mail:tabikobo-all@joy.ocn.ne.jp

## 滋賀県・日野町・甲賀市・東近江市

### 近江商人と忍びの心に学ぶ
### 滋賀県東近江エリア
### 課題解決型修学旅行を提案

滋賀県の東近江エリア（日野町、東近江市、甲賀市）は、〝売り手よし　買い手よし　世間よし〟の「三方よし」の精神で常に社会貢献の心を忘れず、商いに精進した近江商人発祥の地です。また、甲賀エリアは、甲賀忍者の里であり、今なおその末裔（まつえい）たちが自然の中で培われてきた先人の知恵と何事にも耐え、忍ぶ心を受け継いでいる地域でもあります。

近畿の水がめ琵琶湖へそそぐ河川の源流地域の豊かな自然の中で培われてきた「三方よし」と「忍び」の心が今も息づく農村の暮らしの中から、現代のこの国が忘れかけている大切な何かを発見できる教育旅行をご提供しています。

東近江エリアのうち、近江日野は引率者の本部宿から15分圏内に、東近江エリア、甲賀エリアは約30分圏内に、それぞれ受け入れ家庭が点在しています。1軒4人を基本に分宿し、その時期にある作業やものづくりなどを家庭で体験していただきます。東近江エリアへは京都や奈良、名古屋からバスで約1時間、名神高速・新名神高速主要インターからも約30分と、関西圏・中部圏との交通アクセスは良好です。

■課題解決型の修学旅行ご提案～農村生活体験（農泊）と家業おまかせプランで心の交流を～

農村生活体験（農泊）と家業おまかせプランは、世代や職業の違う受け入れ家庭の生業、農村のありのままの暮らしの体験を交流の手段としながら、多くの会話で心を通わせ、交流が深まることにより、「①コミュニケーション能力の向上」

かんぴょうの皮むき（三方よし！近江日野田舎体験）

かまど体験（忍者の里甲賀田舎体験）

梅の収穫（ただいまステイ東近江）

タマネギの収穫

調理体験

天ぷらの材料にする野草を収穫

が期待できます。

各家庭ではさまざまな体験ツールを用意し組み合わせることから、受け入れ家庭の数だけ体験があると言っても過言ではありません。また、食生産現場での体験、受け入れ家庭との共同調理、食することによる「②農作業の大変さ、喜び、食育」の理解の促進とともに、家庭との共同作業、共通体験を通して「③達成感や豊かさ」をより深く体感していただくことができます。農村生活体験（農泊）と家業おまかせプランを通して、生徒たちの「④リーダーシップの資質向上」「⑤主体性、協調性」を養うプランは数多くの学校さまにご支持いただいています。

体験することが目的なのではなく、体験を通して交流を深め、人としての成長を促すことが最も大切だと、滋賀県東近江エリアは考えています。教室の中だけでは学ぶことが難しい「ひとりひとりが考え、行動する力」を養うことができる場をご提案いたします。

おかげさまで東近江エリアでの教育旅行の受け入れを始めて15年の経験を積ませていただきました。安全安心、そして教育効果の高い受け入れに向けて地域一丸となって取り組んでいます。皆さまのお越しをお待ちしております。

**一般社団法人 近江日野交流ネットワーク**
〈ワンストップ窓口〉日野町商工観光課内　担当：福本

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原1―1
日野町商工観光課内
TEL 0748-52-6562 FAX 0748-52-8888
E-mail inakataiken@omi-hino.jp
URL https://www.omi-hino.jp/

## 奈良県・大和飛鳥地域

### 日本のはじまりの地で民家ステイ
### 人と出会い、つながりを学ぶ

**日本はじまりの地で、人と出会い、つながりを学ぶ『大和・飛鳥民家ステイ』**

大和飛鳥ニューツーリズムは、2011年から教育旅行の受け入れに地域で取り組み、国内約2万8千人、海外約1万8千人の方々に、地元の人々と触れ合いながら丁寧な田舎暮らしを体験できる「民家ステイ」をご利用いただいています。他にも、各種体験プログラム・視察研修・人材育成事業に取り組んでおります。年月を経て、人の暮らしの様式は変わってきてはいるものの、体験を通して成長する生徒の姿に変わりはなく、旅立つ姿を送り出す喜びを感じさせていただいています。「自分を取り巻くすべての人やモノ・コトへの感謝」の気持ちを感じることができるこの「民家ステイ」プログラムを、より多くの生徒たちに体験いただき、さまざまなつながりの中にある「優しさや希望」を感じとってほしいと願っています。

飛鳥の歴史に触れてみよう！

**大和飛鳥地域で、『つながり』を創り出そう！**

**①「民家ステイ」で感じる「SDGs」とのつながり　～キーワードはサステナビリティ～**

一人一人が、「世界を構成する一員であることを自覚して、行動を起こす」クク」が教えてくれる「SDGs」とのつながり～地元の人ときんぽしよう～

国の特別立法「明日香法」により、村内全域が厳しく景観保全されている唯一の自治体明日香村。地域の人と共に歩き、対話しながら学びを深める、今までになかった対話型ツアー、それが「里ぶら」です。日本はじまりの地である明日香村を自分たちの足で歩き、自然豊かな里山に点在する史跡を訪れていきます。地元の人だから知っているコト・モノ・場所の話を聞こそ、「民家ステイ」を取り入れていただき、自分の住んでいる地域と比較し、持続可能なまちづくりについて考えるきっかけにしていただきたいと思います。※より深い学びを得ていただくために、事前学習用ワークシートの活用をお薦めしております。

**②「里ぶら・歴史ウォーク」**

飛鳥の奇石を巡る

ステイの理念に重なります。また、田舎暮らしの知恵の中には、SDGsの取り組みに直結することがたくさんあります。13年前に当事業が始まった理由は、地域を活性化し「住み続けられる村」にするためでした。「民家ステイを体験すること＝『住み続けられるまちづくり』を支援につながること」からも、SDGsに真剣に取り組まれる学校様に、さまざまなご調整をして生徒を送り出してくださる先生方がいてこそ、この事業が成り立つと実感しています。民家ステイを採択していただくにあたり、さまざまな方々のご理解とご協力、そして「信頼関係」が何よりも大事であると感じております。笑顔で見送り、また戻ってきていただけるよう、当地を選んでくださった全ての方々のために安全を第一に考えながら受け入れを実施し、大和飛鳥地域とみなさまのよりよい出会いと、未来につながるご縁を取り持つお手伝いをしていきたいと思っています。

びをかみしめるとともに、さまざまなつながりを生徒たちに体験いただく、初めて出会う景色とゆったりと流れる時間の中で、新しい気づきや価値観に触れることができます。自分の地域のことも振り返りながら、大切なことや未来に遺していきたいものについて共に考えることを目標にしています。※明日香法にて村内全域に規制をかけている明日香村の取り組みの数々を知ることは、「⑪住み続けられるまちづくりを」について、自分たちの地域の未来を考える際にもきっと役立つと思います。飛鳥地域は2026年世界遺産登録を目指しています！

全ての活動が通常に戻り、私たちの地域にもにぎわいが戻っています。懐かしい先生方が戻って来てくださり、再会の喜

田植え体験（1年1校限定）

**一般社団法人 大和飛鳥ニューツーリズム**

〒634-0112 奈良県高市郡明日香村島庄5番地
TEL 0744-54-1525 FAX 0744-54-1526
E-mail:info@yamatoasuka.or.jp
URL:https://yamatoasuka.or.jp/